

大地

Vol.76

R6 新年号



国宝に指定された「通潤橋の放水」(熊本県山都町)

2023年5月2日撮影 山都町提供

Contents

Greeting

- 新年のご挨拶 水土里ネット熊本 会長 竹崎 一成 …… 1
- 第18期(令和5年4月～令和9年3月)役員名簿 …… 1
- 新年にあたって 全国水土里ネット 会長 二階 俊博 …… 2
- 新年のご挨拶 全国水土里ネット会長会議 顧問
財務大臣政務官 参議院議員 進藤 金日子 …… 3
- 新年のご挨拶 全国水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員 宮崎 雅夫 …… 4

Action

- 「農業農村整備の集い」が開催 …… 5
- 土地改良事業団体連合会九州協議会による要請活動 …… 5
- 「第45回全国土地改良大会福井大会」が開催 …… 6
・全土連会長表彰 古庄 廣美 氏(泗水町土地改良区理事長)

- 「令和5年度水土里ネット役員研修会」を開催 …… 7
- 令和5年度 九州「農地・水・環境保全」フォーラムin熊本を開催 …… 7
- くまもと水土里ネット女性の会による「水土里マルシェ」が開催 …… 8
- 「令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」が開催 …… 8

Information

- 令和5年梅雨前線豪雨災害からの復旧・復興に対する支援 …… 9
- 令和6年能登半島地震に対する支援 …… 9
- 「2023くまもと農業フェア」が開催 …… 10
- 山都町の「通潤橋」が国宝に指定されました …… 10
- 新たな「会章(シンボルマーク)」が決定しました …… 10
- 「未来へつなごう!ふるさと水土里」子ども絵画展2023優秀作品 …… 11
- 土地改良法律相談のご案内 …… 11
- 複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内 …… 11
- 第46回全国土地改良大会千葉大会のお知らせ …… 11



熊本県土地改良事業団体連合会

水土里ネット熊本

MIDORINET KUMAMOTO



新年のご挨拶

水土里ネット熊本 会長 竹崎 一成
(熊本県土地改良事業団体連合会)

新年明けましておめでとうございます。

本年も皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。昨年は多くの挑戦と試練がありました。仕事やご家庭、地域での出来事に直面し、皆様方はそれぞれの立場で立ち向かってこられたことと思います。新たな年が始まり、新たな目標に向けて職務にあたると同時に、ご家庭の平安と幸福を心よりお祈りいたします。

本年の元日に発生しました「令和6年能登半島地震」に関しては、熊本地震を上回る深刻な状況であることが報告されており、今後の被害拡大に胸が痛みます。我々も組織や個々の立場に応じて、必要な支援を行っていくことが求められます。

国際情勢も厳しさを増しており、ロシアによるウクライナへの攻勢やパレスチナ問題、中国の台湾進攻の危機などが深刻な状況となっています。これらの国際的な事態に対しては、我々も十分な警戒が必要であり、外交や安全保障の面で適切な対応が求められます。特に、日本が抱える食料安全保障の課題に対しても、真剣な取り組みが必要です。国土の荒廃や人口減少による影響は深刻であり、国力を維持するためには経済力や外交力だけでなく、食料自給率向上への努力が欠かせません。

さらに、少子化対策においても地方が重要な役割を果たしています。人口減少は国の基盤に影響を与え、将来的には国力の低下につながる可能性があります。地方の知恵や努力だけでなく、国全体での総力戦が求められています。将来の展望も含め、これらの重要な課題に真摯に向き合い、解決に取り組んでいくことが重要となります。

熊本県においては、TSMCの進出や県南地域の工業団地拡充は期待され、今後、具体的な施策の展開について真剣に検討すべきです。

また、農業の現状としては、担い手不足が深刻化し、地域資源を活かした農業生産が難しい中、農業に対する理解が求められます。

政治の不安定さも考慮しつつ、「官ただしければ国治まる」という言葉が今こそ重要であると感じます。地域の指導者や堅実な体制が、国の安定に繋がります。信頼の不足が叫ばれる今こそ、皆様の尽力が求められています。ご苦労されていることと存じますが、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

会といたしましても、農業の持続的発展と、多様な人が住み続けられる農村振興の実現に向け、長年培ってきた技術力と経験値を最大限に活かしつつ、各関係団体と協力し会員の皆様と共に役職員一丸となって果たすべき役割と使命を全うして参ります。

結びとなりますが、小さな挑戦が人生を豊かにするとの言葉を引用し、私もピアノの習得に挑戦しています。皆様と共に、充実した一年となるよう心よりお祈りしております。



令和6年1月5日 仕事始め式にて

●第18期(令和5年4月～令和9年3月) 役員名簿

(令和6年1月現在)

監事	監事	総括監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	副会長	会長
岡村 文明 (百太郎溝土地改良区理事長)	吉良 清一 (南阿蘇村長)	北野 安正 (熊本平野南部土地改良区理事長)	馬場 昭治 (天草市長)	森本 完一 (錦町長)	藤本 一臣 (永川町長)	本田 二男 (阿蘇土地改良区理事長)	古庄 廣美 (泗水町土地改良区理事長)	金田 英樹 (天津町長)	早田 順一 (山鹿市長)	中逸 博光 (長洲町長)	坂本 直人 (小川町土地改良区理事長)	津田 正昭 (熊本市西南土地改良区理事長)	久保田 修 (学識経験者)	元松 茂樹 (宇土市長)	坂田 孝志 (八代平野北部土地改良区理事長)	竹崎 一成 (芦北町長)

新年にあたって

全国水土里ネット
(全国土地改良事業団体連合会)

会長 二階 俊博

令和6年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

本年元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当会も被災地域の一日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、関係各位におかれましてもご支援をお願いします。

昨年は、国内では新型コロナウイルス禍が一段落する一方、ロシアによるウクライナ侵略に加え、中東においても軍事衝突が起こるなど、国際的な混乱が続く年となりました。

国内においては、農業者の高齢化や減少が進み、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような情勢の中、命を支える食料の確保は、後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の強化は、国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されています。

我々は、食料安全保障の確立の観点からも、食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

令和6年度農業農村整備事業関係予算につきましては、全国の関係者の皆様の熱意ある要請活動の結果、政府予算案において、4,463億円を確保することができました。令和5年度補正予算を含めると昨年度を上回る6,240億円となります。

御尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第五次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、残された期間は2年余りとなります。

将来の土地改良組織の体制強化・発展のために女性の参画を積極的に進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

私は、本会の会長に就任以来、「闘う土地改良」を旗印に組織一体となって闘ってまいりました。土地改良の代表として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が「車の両輪」となって、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声を国会に届けるためにも、お二人の活動の支援をお願いいたします。「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。

男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていこうではありませんか。

本年も皆様の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、全国の皆様が日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます。私の新年の御挨拶といたします。





新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議 顧問
財務大臣政務官 参議院議員

かねひこ
進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。

本年は元日から能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたしますとともにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の復旧、復興に向け、私も全力を尽くしてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

熊本県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下にあって、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円（TPP等対策：760億円、食料安全保障対策：460億円（うち重複300億円）、国土強靱化5か年加速化対策：857億円）が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員

宮崎 雅夫

輝かしい初春を迎え、熊本県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

まずは本年1月1日に発生した能登半島での地震及び津波の発生により多くの人命を伴う甚大な被害が発生しました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りし、被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、現地での支援活動等にご苦労されている皆様に敬意を表します。

近年の異常な気象状況の中で昨年も、線状降水帯の発生など、梅雨前線の停滞に伴う被害や連続する台風被害などにより、広い範囲で強風、湛水の被害、土砂災害などが発生しました。熊本県でも6月下旬から7月上旬にかけての梅雨前線による豪雨災害がございました。

被災された全ての方々にご心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設等の適切な管理並びに厳しい状況の中で土地改良区の運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、農林水産大臣政務官を勤めさせていただいた経験をもとに、特に昨年は、私が現場でお聞きした皆様の声を進藤金日子議員とも連携しながら、国会等で発信し、皆様方からお受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決等に向け、全力で努力させていただきました。これらご要請を含め、昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、農林水産関係で総額8,182億円、このうち、土地改良関係については、昨年第二次補正予算から100億円アップの1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化857億円）を確保できました、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増高分の7割を支援する制度の継続も含まれています。また、令和6年度当初予算の概算額としては、前年を上回る4,463億円が計上され、総額6,240億円となる見込みとなりました。参議院予算委員会の理事として、これから行われる通常国会で、早期成立に向けて尽力していきます。

また、今通常国会では、四半世紀ぶりに「農政の憲法」言われる食料・農業・農村基本法の改正を行う予定ですが、カロリーベースで6割超を輸入に頼る我が国の食料事情にあつて、食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化についてしっかり議論を進め基本法に位置付けていく必要があります。さらに国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組推進や農業農村関係人口の拡大などを含めて、適切に施設の保全管理が図られるようしっかりと土地改良区の運営強化を推進していくことが重要です。

私も、昨年還暦を迎えました。引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺い皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいり決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、熊本県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申し上げ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



●「農業農村整備の集い」が開催

「農業農村整備の集い」が全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの共催により、令和5年11月7日（火）、東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて開催された。水土里ネット会長会議顧問進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員、農林水産省から宮下一郎農林水産大臣をはじめ農村振興局幹部、衆参両院の国会議員が多数出席し、全国の土地改良関係者を合わせて1,200名以上が参集し開催された。



◆主催者挨拶 全国水土里ネット 二階 俊博会長

全国各地から農業農村整備の集いに出席頂いた土地改良関係者に対し謝辞を述べられた後、「令和6年度予算確保並びに食料安全保障の強化のため土地改良事業推進など、土地改良関係予算の確保に向け、闘っていかなければならない」と力強く訴えられた。



「農業農村整備の集い」会場の様子



出席者による「ガンバロウ三唱」

宮崎雅夫参議院議員からの情勢報告が行われた後、全国水土里ネット女性の会 根本由紀子会長（かづの土地改良区事務局長）から新たな取り組みとして初の地方開催となった「令和5年度水土里ネット男女共同参画推進会議 in Kazuno」の開催報告が行われるなど、全国規模での男女共同参画を推進する機運の高まりを感じる大会であった。

●土地改良事業団体連合会九州協議会による要請活動

令和5年10月23日～24日にかけて、九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会合同での農林水産省・財務省並びに関係国会議員等、関係各機関に対する合同要請・要望活動を実施した。

本会からは、坂田孝志県土連副会長、久保田修常務理事、他事務局3名が参加した。

今回の要請・要望活動では、舞立昇治農林水産大臣政務官、長井俊彦農村振興局長、青山健治農村振興局次長、緒方和之整備部長、神田憲次財務副大臣へ面談し、令和6年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保並びに国土強靱化対策に必要な予算措置など要望書記載の6項目について積極的に要請・要望活動を展開した。



長井俊彦農村振興局長への要請・要望活動
【農林水産省にて】



舞立昇治農林水産大臣政務官への要請・要望活動
【農林水産省にて】



農業農村整備事業に関する要望書

●「第45回全国土地改良大会福井大会」が開催

第45回全国土地改良大会（福井大会） ～ふくいで語る土地改良の未来～

令和5年10月11日（水）、福井県越前市の「サンドーム福井」において全国土地改良大会福井大会が開催された。本会からは、竹崎一成会長、坂田孝志副会長、元松茂樹副会長、久保田修常務理事他4名の理事・監事並びに事務局6名が参加した。加えて熊本県からは、清藤浩文農村振興局長他3名が参加され、県下の土地改良区から16団体27名を合わせた総勢45名が本全国大会に参加した。



「全国土地改良大会福井大会」会場の様子



熊本県参加者集合写真

開会にあたり、水土里ネット福井山崎会長が開会挨拶、主催者を代表して全国水土里ネット二階会長（代読：義経副会長）が挨拶、続いて杉本福井県知事、山田越前市長、佐々木鯖江市長が歓迎の言葉を述べられました。来賓挨拶では、武村農林水産副大臣、稲田衆議院議員、進藤・宮崎両都道府県水土里ネット会長会議顧問が祝辞を述べられました。

大会式典の中で行われた土地改良功績者表彰では、洒水町土地改良区理事長の古庄廣美氏が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞され、長年にわたり土地改良事業の推進に貢献された功績が称えられました。

次に、青山農村振興局次長による基調講演、優良地区事例紹介、大会宣言と続き、次期土地改良大会開催県である千葉県の紹介とともに、大会旗が水土里ネット千葉へ引き継がれ、式典は盛会のうちに終了しました。



水土里ネット福井
山崎会長



全国水土里ネット
義経副会長



都道府県水土里ネット会長会議
進藤顧問



都道府県水土里ネット会長会議
宮崎顧問

◆全土連会長表彰

洒水町土地改良区理事長
古庄 廣美氏



【主なご功績】

- ・平成20年から土地改良区理事長就任、平成31年から県土連理事就任。
- ・老朽化した水利施設の計画的な更新整備のため、維持管理適正化事業や水利施設等保全高度化事業に積極的に取り組む。
- ・平成22年から平成27年にかけて実施された経営体育成基盤整備事業南田島・佐野地区においては、理事長として地元説明会などを通じて農家への積極的な事業推進と併せて、関係機関との調整に尽力。
- ・土地改良区において、積極的に多面的機能支払交付金の事務受託し、農家・非農家の架け橋となって地域活動の活性化にも尽力。
- ・熊本県内の土地改良区54団体で組織する「熊本県土地改良区事業推進協議会」の会長・顧問を歴任し、県内土地改良区がもつ課題や問題解決に積極的に取り組み、県内の土地改良区を力強く牽引。

●「令和5年度 水土里ネット役職員研修会」を開催

令和5年11月21日（火）、メルパルク熊本にて本会と熊本県の共催で、県内土地改良区の運営基盤強化を目的として「令和5年度水土里ネット役職員研修会」を開催し、県内土地改良区から169名が参加がありました。

今回の研修では、本会 久保田修常務理事の主催者挨拶に始まり、研修では、熊本県農村振興局首席審議員兼農村計画課長 青木公平様より「国及び熊本県の農業情勢について」、(株)日本政策金融公庫 熊本支店 融資第二課長 中村朋広様・課長代理 松本真祐子様より「農業基盤整備資金について」の講演をして頂きました。

その後、日本赤十字社 熊本健康管理センターよりロコモ体操の指導を頂き、九州農政局 農村振興部 土地改良管理課長 新開康成様より「土地改良区を巡る情勢について」、宮崎県 大島堰土地改良区 理事長（宮崎県土地改良事業団体連合会 理事）奥村千扶子様より「土地改良で農業の夢を語る」の講演が行われました。

最後に、熊本県農林水産部農村振興局長 清藤浩文様より「熊本県からの情報提供」が行われた後、閉会挨拶により閉会しました。



久保田常務理事
開会挨拶



青木首席審議員 講演



中村課長 講演



新開課長 講演



奥村理事長 講演



清藤農村振興局長
閉会挨拶



研修会会場の様子

●令和5年度 九州「農地・水・環境保全」フォーラムin熊本を開催

令和5年10月30日（月）、九州各県の多面的機能支払推進協議会で構成される、「くまもとふるさと環境フォーラム・九州連絡会」の主催で、九州農地・水・環境保全フォーラム in 熊本が熊本市の熊本城ホールにて開催しました。九州各県の土地改良区や農家ら約1,600人が参加し国の多面的機能支払交付金を活用した田んぼガムの取り組みなど考えました。

本フォーラムでは、竹崎一成会長からの主催者挨拶が行われたのち、蒲島郁夫熊本県知事、北林英一郎九州農政局長、宮崎雅夫参議院議員より来賓挨拶、進藤金日子参議院議員よりビデオメッセージをいただきました。

また、基調講演では、京都大学の渡邊紹裕名誉教授が気候変動による農業への影響などについて講演いただきました。

その後、熊本県錦町の団体が、多面的機能支払交付金を活用し、7月豪雨被害での応急措置や田んぼガムに取り組んだ事例を報告しました。この他、福岡県荊田町、長崎県諫早市、宮崎県高鍋町の各団体が活動事例の発表を行いました。



竹崎会長 挨拶



蒲島知事 挨拶



北林局長 挨拶



宮崎議員 挨拶



進藤議員 ビデオメッセージ



渡邊教授 講演



錦町農地・水・環境保全管理協定
運営委員会事例発表



会場の様子

●くまもと水土里ネット女性の会による『水土里マルシェ』が開催

くまもと水土里ネット女性の会が主催し、令和5年11月3日（金）に水土里ネット熊本屋外スペースにおいて「くまもと水土里マルシェ」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、多数の地域住民及び土地改良関係の皆様にご来場いただきました。

マルシェでは、県内各地の新米の食べ比べやジビエスープの試食を行ったほか、県内各地の新米や新鮮な野菜、果物、花類の販売を行いました。学習コーナーでは水源かん養や田んぼダムのジオラマ、水土里ネットの活動に関するパネル展示を行い、アンケートとともにクイズに回答いただいたことで、子どもたちからご年配の方まで、幅広い年代の方々に水土里ネットの様々な取組みを理解して頂くことが出来ました。

アンケートの中では、“毎年開催してほしい”との意見も多数寄せられており、今後も女性の会の活動の一つとして継続して参りたいと思っております。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



くまもと水土里ネット女性の会集合写真



マルシェ会場の様子



おてもちゃん
(マスコットキャラクター)

【くまもと水土里ネット女性の会】

県内土地改良団体関係機関（土地改良区、県、県土連）の女性職員等で構成（91名_令和5年度）されており、平成30年度より活動しています。

●「令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会in Kazuno」が開催

令和5年9月27～28日、全国水土里ネット女性の会は、秋田県鹿角市のホテル鹿角において、全国初となる「令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会in Kazuno」を開催しました。本県からは全国水土里ネット女性の会の西彩副会長（熊本県土連会員支援課長）及び、くまもと水土里ネット女性の会の田尻千恵会長（三角町土地改良区）他3名が出席しました。

本大会では、全国水土里ネット女性の会根本会長の挨拶で始まり、農林水産省農村振興局農村振興部 佐藤部長より「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」の基調講演が行われた後、「男女共同参画推進社会を実現するためには」をテーマにパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換が行われました。



佐藤部長 講演



パネルディスカッションの様子



大会での集合写真

●令和5年梅雨前線豪雨災害からの復旧・復興に対する支援

令和5年7月、梅雨前線豪雨災害により、上益城地方を中心に甚大な被害が発生しました。水土里ネット熊本は、特に被害の大きかった益城町を中心とした13市町村からの緊急要請により、関係市町村職員と協力し、初期対応となる被災地の現地調査を行いました。また、その後の災害査定に向け災害対策室を本部3階研修室に設置し集中的に対応しました。

この災害対策室には、本会職員により即時に対応班が編成され（4班体制：ベテラン・中堅・若手等の組合せ）、平成28年熊本地震や、令和2年7月豪雨災害などの大規模災害対応で培われた経験を最大限生かし、迅速かつ効率的な業務遂行と共に、技術力・対応力の研鑽と継承が図られました。

なお、本会の災害対応件数は、県内約110件となり計画的に災害査定を完了することができました。



被害状況(農地埋没)



被害状況(道路法面崩壊)



災害対策室の執務状況

本会は、これまで蓄積された経験を活かし、県内外問わず大規模災害を受けた被災地への技術的応援派遣を行っており、今年度にあっては、山都町・鳥取県土連への職員派遣を実施しました。

このことにより、災害復旧事業に関する高度な技術を持ったスペシャリストを派遣することで、被災地の復旧・復興を後押しをしています。

また、本会は、突発的に発生した災害に対応できるよう、備蓄保管庫を整備し、大規模災害を受けた他県水土里ネット等に対して、災害支援物資の影響を行っています。

いつ、どこで災害が発生しても迅速に支援できるように体制を構築しています。



鳥取県土連への職員派遣壮行式



鳥取県土連への職員派遣



山都町への職員派遣



他県土連への災害支援物資の配布

●令和6年能登半島地震に対する支援

本年1月1日、「令和6年能登半島地震」により石川県を中心に甚大な被害が発生しました。水土里ネット熊本は、ライフラインの復旧が懸命に進められる被災地を支援するため、本会を代表して2名の職員が水土里ネット石川に対し、食料や資材等の緊急支援物資を届けるとともに、熊本地震での災害技術者受入実績を踏まえ、そのノウハウ等をお伝えしてきました。



支援物資出発式での久保常務理事挨拶



支援物資搬送対応者 久保事業部次長、林田農地整備課長



石川県に向けての出発状況



石川県土連への災害支援物資の配布

●「2023くまもと農業フェア」が開催

熊本県内の農畜産物などをPRする「2023 くまもと農業フェア」が、令和5年11月11日（土）、12日（日）、合志市の熊本県農業公園「カントリーパーク」にて開催されました。

水土里ネット熊本は、熊本県農村計画課と共同で「田んぼダム模型」及び「水源かん養システム模型」の展示、「田んぼダムの取組み」に関する動画上映、「田んぼダムの取組み」や「世界かんがい施設遺産」、「男女共同参画推進」に関するパネル等の展示を行い、農業農村整備の取組みを広く発信しました。両日とも天候に恵まれ、当初の想定を上回る多くの方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。



2023くまもと農業フェア開会式典



田んぼダムの取組みジオラマ模型



農業フェア（県と本会の共同ブース）の様子

●山都町の「通潤橋」が国宝に指定されました

令和5年9月25日、山都町に所在する「通潤橋」が土木構造物としては、全国初となる「国宝」に指定されました。

これまで通潤橋、通潤用水を守ってこられました山都町、通潤地区土地改良区をはじめ、保存活用等に多大なご尽力をされた皆さまにお祝いを申し上げます。



石碑全景 ※山都町提供



吹上樋を構成する通水石管 ※山都町提供



通潤橋全景（秋・放水中） ※山都町提供

●新たな「会章（シンボルマーク）」が決定しました

本会では、令和3年度に掲げた「会訓」とともに、新たな時代における本会の「存在意義」を県内や全国に発信すること、また、改めて本会役職員の「意識の統一」を図る媒体として、公式の「会章（シンボルマーク）」を作成しました。

【決定した「会章（シンボルマーク）」】



熊本県土地改良事業団体連合会

水土里ネット熊本

MIDORINET KUMAMOTO

ーコンセプトー

将来明るい熊本を見守る団体として、そこで働く本会職員を太陽に見立て、水、土を整備し、包み込むようなシンボルに。わかりやすく、明るい印象のマーク。

「未来へつなごう!ふるさとの^{みどり}水土里」子ども絵画展2023優秀作品

「未来へつなごう!ふるさとの^{みどり}水土里」子ども絵画展2023には数多くの作品のご応募ありがとうございました。おかげをもちまして、全国から3,021点、熊本県から42点の応募があり、厳正なる審査の結果、入賞31作品、地域団体賞52作品、入選142作品が選考され、熊本県からは地域団体賞1作品、入選3作品が選ばれました。来年度も引き続き、県や市の教育委員会を通じ小学校や幼稚園、保育園へご案内いたしますので関係の皆様方には、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます

熊本県の優秀作品

水土里ネット熊本会長賞



「農家さん、ありがとう」
龍田西小学校 6年生

入選



「田んぼ」
鹿本小学校 6年生

入選



「わがやの田んぼのふうけい」
鹿本小学校 4年生

入選



「おばあちゃんで作ったじゃがいも」
龍田西小学校 3年生

土地改良法律相談のご案内

問題解決をサポートします!

近年、土地改良事業及び土地改良区を取り巻く環境は、施設の多様化や農村地域の都市化・混住化により諸問題等が複雑化・高度化しております。このような社会的背景を基に、本会では土地改良相談等事業による法律に関する相談業務について、顧問弁護士に委嘱し会員の皆様の問題解決に努めております。

毎月1日を定期相談日と定め（急を要するものについては随時）対応しておりますので、問題等がございましたらご相談ください。

相談窓口・担当課：会員支援課 会員支援係 電話：096-348-8802（直通）
野村 kouji.nomura@higosanae.or.jp

複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内

土地改良法の一部改正により、土地改良区等は令和4事業年度から貸借対照表の作成が義務付けられました。このことから、本会の職員（会計指導員）が複式簿記の巡回指導をおこない、土地改良区等の円滑な複式簿記導入を支援しています。

また、財務管理に関するサポートとして本会職員（会計指導員）が顧問税理士と協力し電話やメールによるご相談にお答え致します。詳細は、ホームページに記載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：財務経理課 財務指導係 電話：096-223-8102（直通）
石井 daisuke.isii@higosanae.or.jp

第46回 全国土地改良大会千葉大会のお知らせ

令和6年10月22日（火）、第46回全国土地改良大会千葉大会（全国土地改良事業団体連合会、千葉県土地改良事業団体連合会主催）が、「幕張メッセ」を会場に開催されます。



大地 Vol.76
令和6年新年号

■発行所 / 水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
■編集発行人 / 竹崎一成

